



かすみがうら市  
KASUMIGAURA

# 議会だより

No.32

## 目次 CONTENTS

- P2-3 **トピックス**  
一般会計決算を不認定～意見書を提出
- P4-5 12月定例会提出議案
- P6-7 12月定例会議案質疑
- P8-9 決算審査特別委員会
- P10 神立駅周辺地区整備調査特別委調査報告・委員会活動
- P11-13 一般質問
- P13-14 緊急質問・コラム



▲雪化粧した郷土資料館(坂地内)

平成23年度  
一般会計決算を『不認定』

不認定による  
市財政への影響はないが  
会計処理の在り方に  
道義的責任を問う

## 平成23年度一般会計決算 『不認定』

当決算については決算審査特別委員会において慎重審議が必要とのことから、継続審査となりました（P8参照）。本会議においては、議員2名からの反対討論があり、特別委の審査報告を踏まえ賛成少数で『不認定』と決しました。

なお、定例会最終日（12月19日）に、『平成23年度一般会計決算に対する意見書』（P3参照）が提出され、本会議において全会一致で可決されました。



▲わかぐり運動公園体育館

### 【反対討論抜粋】

今政治に求めているものは、マスコミ受けする政策でもなく、人気取りのバラマキでもなく、地に足のついた着実な政策である。人と人が絆を大事にし、相互協調し、派手ではないが、確実な政治が求められている。

本案は、まず、決算認定の要である「予算が適正に執行されたかどうか」について、大きな問題があり、当該決算の歳計現金は、実際の歳入額と決算額が相違した報告となった。その要因は、体育施設の使用料に未収入が生じたことである。

まず、この点からして、議会として、到底承認できるものではない。

決算審査でも、各委員から、さまざまな不祥事が指摘されている。このたび重なる不祥事の根底に流れているのは、危機管理に対する政治姿勢が問われているのではないだろうか。

議会の議決や決議、さらには、提言や助言を、ないがしろにする市長の政治姿勢に大きな問題があると言わざるを得ない。

平成23年度の決算審査を契機として猛省し、市長・副市長・教育長が先頭に立ち、原点に立ち返り、このような事件の再発防止のため、危機管理に対する認識を改めることを警鐘する。

そのためにも、指導者の意思改革と、一日も早い危機管理体制が整えられることを切に願ひ、反対討論とする。

平成23年度一般会計決算に意見書を提出し職員の意識改革を求める

※決算認定については、[豆辞典（最終ページ）](#)を参照下さい

## 平成23年度一般会計決算に対する意見書（概要）

かすみがうら市の平成23年度一般会計の決算に対し、下記の事項について強く要望する。

### 記

- 1 当該決算では多額の不用額が発生。予算が市民に還元されたとは言い難いことから、予算編成のあり方や予算の執行のあり方について、再検証すること。
- 2 商工振興対策事業費補助金は、当初予算で修正案が可決された。それらが軽視されたことは、議会として大変遺憾であり、今後は、議会の議決を尊重すること。
- 3 五輪堂橋改修事業に伴い、石岡市の負担分を当市で負担したことは、市民に血税の負担増を強いるものであり、財源確保の点からも、今後は、周辺市との連携を再構築すること。
- 4 本市の災害対策は、どちらかと言うと後手後手の感がある。今後策定される防災計画に基づき、積極的な施策展開を行うこと。
- 5 職員の給与事業は、職員の勤労意欲及び職場での士気の高揚を図り、公務の能率的運営に資するという目的を踏まえ、この趣旨に沿った施策を展開すること。
- 6 農業体質強化基盤整備事業に係る公印の無断使用については、制度や手続きの確立は当然ながら、執行機関内の人間関係・コミュニケーションの強化を進めるためにも、組織の体制や執行のあり方を再検証すること。
- 7 宍倉出張所解体費事業は、繰越明許し事業を進めるとの理由から、議会の可決を経た経緯がある。しかし、事業は進展せず、それどころか司法に解決を委ねようとの方針である。まずは、執行部のあるべき姿勢として、解決しようとする心構えで望むこと。
- 8 営農指導体制整備事業補助金の返還については、農協と市の間で、補助の対象・非対象の考え方にかい離があったことが大きな要因だった。このように機関決定後、返還を求めるような措置が再発すれば、行政の信頼を低下させる懸念がある。今後は、事業の実施前に相互理解された統一見解を持つように改善すること。
- 9 区長からの要望が累積してきているのを踏まえ、特に、道路維持管理において、地域要望の実態や実施状況を即時に把握するためにも、要望のデジタル化を推進すること。
- 10 政策事業である板橋のアンテナショップ出店効果は、同事業が平成24年度に予算化されなかったことからしても、費用対効果が薄かったものとする。今後は、これらを反省点とし、特に、政策事業については、事業着手前に事業効果の予測を行うこと。
- 11 当該決算の歳計現金は、実際の歳入額と決算額が相違した報告となった。その要因は、体育施設の使用料が公金着服問題により未収入が生じたことである。審査の中で、委員から「組織の体質改善」「法の遵守の徹底」「信頼回復」が求められているが、これらの審査を経ても、いまだ具体的対策が示されていない。これらを踏まえ、行政が一丸となって、再発防止策を取りまとめること。
- 12 「体育施設の使用料の公金着服問題」は、これまでの教訓が生かされず発生した事案である。市長・副市長・教育長が先頭に立ち、このような事件が再び起こることのない管理システムの構築や職員の再教育をはじめ、庁内の危機管理に対する機能の再点検も急ぐべき課題といえる。本件は、市政の信頼の根幹を著しく損ねた事件であることを肝に銘じ、これを大きな契機として、再度、危機管理の全般を強化すること。

以上、議会からの意見について、真摯に受け止め、速やかな対応を行い、その結果について議会へ報告するよう求める。

## 平成24年 第4回定例会



平成24年第4回定例会が、12月5日から12月19日までの15日間の会期で開催されました。今定例会でも、『本会議中心主義』により審議を行いました（一部の案件は委員会付託）。また、12月6日、7日の2日間において一般質問（後頁P11～13）を行いました。

### 議案等の審議結果

#### ▼ 報告第7号

専決処分報告について  
下稲吉小学校管理・教室棟増築工事（建築工事）について、工事内容の一部変更に伴う設計変更により、請負金額変更の契約を締結し、専決処分を行ったものです。

▼ 承認第7号  
専決処分事項の承認を求めるところについて

#### 承認

衆議院議員総選挙及びかすみがうら市選挙区における茨城県議会議員補欠選挙の執行に要する経費が早急に必要となったことから、それに係る経費を補正予算で計上する専決処分を行ったものです。

#### ▼ 議案第66号

平成23年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定について

#### 不認定

（内容はP2を参照願います。）

#### ▼ 議案第67号

平成23年度かすみがうら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

#### 認定

▼ 議案第68号  
平成23年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

#### 認定

▼ 議案第69号  
平成23年度かすみがうら市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

#### 認定

▼ 議案第70号  
平成23年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

#### 認定

▼ 議案第71号  
平成23年度かすみがうら市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

#### 認定

▼ 議案第72号  
平成23年度かすみがうら市水道事業会計決算の認定について

#### 認定

#### ▼ 議案第79号

かすみがうら市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正す

る条例の制定について

#### 可決

議会の議員が特別職に選任されたときに、その兼ねる特別職として受けるべき報酬を支給しない職が新たに生じたことに伴い、あわせて議会の議員の重複給与禁止に係る条例の見直しを行うため、この条例を制定するものです。

#### ▼ 議案第80号

かすみがうら市税条例の一部を改正する条例の制定について

#### 可決

平成25年度から市民税及び固定資産税の納期前納付における報奨金を廃止するため、条例を制定するものです。

#### ▼ 議案第81号

平成24年度かすみがうら市一般会計補正予算（第7号）

#### 可決

主な内容は、財政調整基金積立金、国民健康保険特別会計への繰出金、障害者自立支援事業に係る扶助費及び返還金、法定予防接種事業に係る委託料等を計上したものです。

#### ▼ 議案第82号

平成24年度かすみがうら市国民健康保険特別会計補正予算（第

3号)

可決

▼▼ 議案第83号  
平成24年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

可決

▼▼ 議案第84号  
平成24年度かすみがうら市下水道事業特別会計補正予算(第4号)

可決

▼▼ 議案第85号  
平成24年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

可決

▼▼ 議案第86号  
平成24年度かすみがうら市介護保険特別会計補正予算(第3号)

可決

▼▼ 議案第87号  
平成24年度かすみがうら市水道事業会計補正予算(第2号)

可決

▼▼ 議案第88号  
財産の無償譲渡について

可決

戸崎行政区の旧消防団詰所及び車庫について、地元行政区の意向を踏まえ、当該財産を無償で譲渡することで地元行政区による自主的な活動を支援するため、地方自治法第96条第1項第6号の規定により提案するものです。

▼▼ 議案第89号  
損害賠償の額を定め和解することについて

可決

旧栄倉出張所建物解体及び盛土撤去工事に係る請負契約の解約による損害賠償額を定め、及び和解することについて、地方自治法第96条第1項第12号及び第13号の規定により、議会の議決を求めます。

▼▼ 議案第90号  
かすみがうら市水族館の指定管理者の指定について

可決

▼▼ 議案第91号  
かすみがうら市生産物直売所の指定管理者の指定について

可決

▼▼ 議案第92号  
かすみがうら市活性化センター生産物直売所の指定管理者の指定について

可決

▼▼ 議案第93号  
千代田庁舎耐震補強工事請負契約の締結について

可決

▼▼ 議案第94号  
平成24年度かすみがうら市一般会計補正予算(第8号)

可決

消防団詰所整備に係る工事請負費として、2棟分の1806万円の繰越明許費を既定の予算に追加するものです。

▼▼ 議案第95号  
かすみがうら市監査委員の選任について  
久保田 喜久男(稲吉東)

同意

▼▼ 議員発議第2号  
かすみがうら市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

可決

▼▼ 議員発議第3号  
かすみがうら市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

可決

▼▼ 議員発議第4号  
平成23年度一般会計決算に対する意見書  
(内容はP3を参照願います。)

可決

5番 古橋智樹君の議員辞職の件  
平成24年12月7日付けで議員を辞職したいとの本人の申し出により、議会で議決したものです。

許可

閉会中の継続審査について

決定

閉会中の所管事務調査について

決定

請願・陳情の審議結果

▼▼ 請願第3号

平成25年度シルバー人材センター補助金交付に関する請願書

趣旨採択

▼▼ 請願第4号  
水道料金の基本水量の見直しを求める請願書

不採択

## 12月定例会における主な議案質疑

### 議案第80号

#### かすみがうら市税条例の一部を改正する条例の制定について

**Q** 平成25年度から市民税及び固定資産税の全期前納報奨金を廃止することだが、この影響は。

**A** 市民税と固定資産税の報奨金については、毎年約2千万円を交付しており、この金額が削減できると考えております。

**Q** 県内の状況はどうか。

**A** 平成24年度では、44市町村のうち24自治体で既に廃止になっております。

### 議案第81号

#### 平成24年度かすみがうら市一般会計補正予算（第7号）

**Q** 法定予防接種事業における、予防接種委託の内容について伺う。

**A** 平成24年度からポリオの不活化ワクチン、四種混合ワクチンの予防接種が開始されることから、委託費1379万3千円を計上させていただきました。

**Q** 不法投棄対策事業における、不適正処理産業廃棄物撤去事業負担金の内容について伺う。

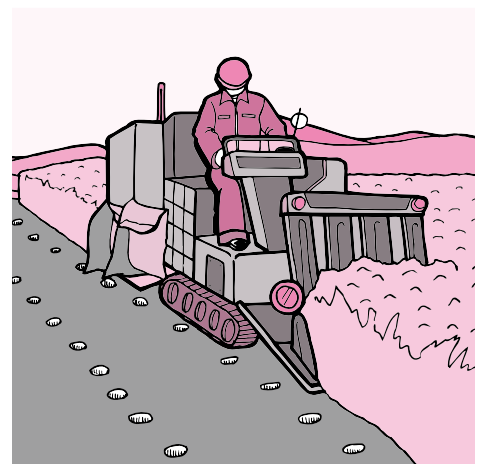
**A** 平成17年4月に市内で不正軽油製造の取り締まりを受けた現場があり、製造時に排出される硫酸ピッチが撤去されず残っております。今回、県が行政代執行をすることに伴い発生いたしました地元市町村負担金、撤去費用の4分の1として16万4千円を計上させていただきました。

**Q** 農業振興事業における、青年就農給付金経営開始型補助金の内容について伺う。

**A** 青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、平成24年度から国の政策として開始された100%補助の給付事業です。6名の方に6カ月分との内容で450万円を計上させていただきました。

**Q** 畜産振興事業における、霞ヶ浦流域畜産環境負荷削減特別対策事業補助金の内容について伺う。

**A** 家畜排せつ物の効率的な処理やリサイクルのための関係施設を整備するための補助金です。県からの補助が50%で、今回は堆肥運搬車等の購入との申請内容に対し1446万8千円を計上させていただきました。



## 議案第89号

### 損害賠償の額を定め和解することについて

**Q** 旧穴倉出張所建物解体及び盛土撤去工事に係る請負契約の解約による損害賠償額の内訳は。

**A** 現場代理人人件費が160万9400円、主任技術者人件費が142万2千円、工程会議等及び内訳書作成事務費が20万1千円、下請負業者への違約金が23万1千円、その他損害金として7万580円、以上、合計いたしまして353万3980円となっております。

**Q** 工事請負業者との契約金額に対して、損額賠償額の割合は。

**A** 消費税抜きの契約額が1230万円です。約28%の賠償額の割合となっております。

**Q** 今後、再入札の予定はあるのか。

**A** 現時点で、再入札の予定はありません。



▲旧穴倉出張所

## 議案第93号

### 千代田庁舎耐震補強工事請負契約の締結について

**Q** 指名選考委員会では、入札方法の考え方はどうだったのか。

**A** 条件付一般競争入札ということで、一定の点数をつけました。委員会では、特定JVということで決定をいたしております。

※JVとは…大型工事において、複数の企業が協力して工事を請け負う形態のこと。

**Q** 単独発注としたのは、市長の考えによるものか。

**A** 指名選考委員会では特定JVとの答申をいたしましたので、そう思います。



▲千代田庁舎



▲被災した議場

決算審査は、市民に代わって行政効果を評価する、きわめて重要な意味があり、今後の行財政運営の改善に役立つよう、特別委員会を設置のうえ、閉会中の継続審査とし、慎重審査を実施いたしました。

なお、今回の平成23年度会計決算審査においても、執行部より「事務事業シート」の提出を求め、事業評価型の決算審査をおこないました。

## 一般会計決算審査特別委員会

(9月20日、21日、24日、25日、10月1日、5日、12日、17日、31日、11月14日、22日開催)

### ○委員会付託案件の審査

・平成23年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定について

一般会計決算総額	【歳入】	172億9335万1086円
	【歳出】	163億4409万1098円

### ○審査内容

**Q** 平成23年度に出た多額の不用額を次年度に繰り越すが、市民の受益から考えると問題ではないのか。

**A** 予算の執行にあたっては、事務事業の徹底した見直しを行い、節減、合理化に努め、予算の目的が達成されたものについての残額は、不用額とするよう指示しております。努力した結果とのご理解をいただきたいと思います。

**Q** 商工会補助金は、当初予算を議会で増額修正した。修正額から減額して交付した理由を伺う。

**A** 平成23年4月末に商工会職員が1名退職したため、250万円の減額が可能と判断しました。その後、商工会と市で協議を重ね、決定いたしました。

**Q** 狭隘道路整備等促進事業とあるが、消防自動車や救急車が入れない、通学するのに非常に危険であるといった箇所が見受けられる。市民の安全・安心を確保するためにも、きちんとした計画を立てて改善していくことが大事であると思うが、今後の考えは。

**A** この調査は、建築基準法に定める道路として都市整備課で実施しました。実際に、その狭い道路を計画的に広げるというのは道路整備課が担当しております。当然予算も必要となりますので、関係部署と連絡をとりながら、できるところから実施していきたいとの考えです。

**Q** 職員による公金着服の問題については、平成23年度体育施設使用料合計が前年度と比較して226万7915円のマイナスとなっている。数字的に異常であることは明らかであり、この時点で何らかの行動を起こさなかったことは、問題ではないのか。

**A** 東日本大震災以降3カ月ほど体育施設の利用を止めたことから、減収もやむを得ないとの考えでした。今となれば全くご指摘のとおりで、当時はそこまで考えが至らず、申しわけありませんでした。

**Q** 東京都板橋区に出店したアンテナショップは、現地を見た印象はよくなかった。あれでは、かすみがうら市のPRにはならないと思う。予算の支出を伴うからには、市民にきちんと説明ができるだけのことをすべきではないか。

**A** チラシの配布によるPRは、それなりの効果があったと思います。しかし、直売の部門は当初考えていたよりも販売が伸びず、反省点がありました。



## 特別会計・水道事業会計決算審査特別委員会（9月21日、11月14日開催）

### ○委員会付託案件の審査

- ・平成23年度かすみがうら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成23年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成23年度かすみがうら市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成23年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成23年度かすみがうら市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成23年度かすみがうら市水道事業会計決算の認定について

特別会計決算総額	【歳入】	100億0220万5737円
	【歳出】	96億8285万6649円
水道事業会計決算総額	【収益的収入】	9億9496万7921円
	【収益的支出】	9億9680万2581円
	【資本的収入】	1930万0000円
	【資本的支出】	5億0340万6532円

### ○審査内容

**Q** 国民健康保険の中で、疾病予防事業として人間ドック等の受診に補助金を交付しているが、平成23年度の実績は。

**A** 年間受診者数が595人で、1284万8千円を支出しております。

**Q** 平成23年度下水道事業の、東日本大震災の影響による支出について伺う。

**A** 施設の復旧に約4600万円支出しました。また、福島第一原発からの放射能汚染に係る処分費用として約126万円支出しております。

**Q** 特定環境保全公共下水道維持事業の中で、長寿命化計画策定業務委託に1500万円支出しているが、この成果をふまえた今後の取り組みは。

**A** 調査結果をまとめ、将来的な維持、修繕等の計画を立案していきたいとの考えです。

**Q** 下水道処理施設から出る汚泥については、放射能汚染の関係により市で仮置きしているが、東電からの補償については、平成23年度はなかったのか。

**A** 平成23年度11月分までについては、平成24年度に補償を受けました。補償の内容としては、放射能汚染前後の処分方法による金額の差額が支給されるものです。

**Q** 介護保険については、平成23年度は100人程度の介護認定者が前年度から増えているとのことだが、今後の対策について伺う。

**A** 高齢者人口そのものが非常に増えておりますので、介護給付を抑えるというよりも介護予防を重点的に実施することが一番の施策との考えです。現在、新しい予防策の計画はないのですが、他市町村の事業で参考になるものがあれば、今後取り入れていきたいと考えております。

**Q** 平成23年度水道事業会計は赤字決算ですが、東日本大震災の影響による支出について伺う。

**A** 水道基本料金について、千代田地区が8日分、霞ヶ浦地区が2日分を減免しております。金額で約600万円です。また、放射線濃度の水質検査として約200万円支出いたしました。

# 神立駅周辺地区整備調査特別委員会 調査報告

## 【調査結果報告書概要】（委員長：加固 豊治）

### 1 神立駅西口地区土地区画整理事業について

- ・平成23年1月25日付で茨城県知事の許可を得て「土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合」を設置し、神立駅西口地区の約2.2ヘクタールの土地区画整理を実施するための準備が進められてきた。
- ・事業認可については、平成24年11月19日付で茨城県知事より認可された。
- ・今後は、平成32年3月31日までの事業施行期間で土地区画整理事業が進められる。

### 2 関連事業について

- ①神立駅橋上駅舎・東西自由通路整備
  - ②東口歩行者専用道路及び東口暫定広場整備
  - ③都市計画道路神立停車場線整備
- 以上が予定されている。



▲神立駅

### 3 その他

土地区画整理事業及び関連事業は、国土交通省所管の社会資本整備総合交付金を活用して事業を推進する。

なお、当該交付金の交付限度額は、対象事業費のおおむね50%とのことである。

※神立駅周辺地区整備調査特別委員会による調査については、以上の報告を受け本会議にて終了することに決定いたしました。

## 文教厚生委員会

### ○委員会付託案件の審査

（12月10日開催）

### 付託案件

- 平成25年度シルバー人材センター補助金交付に関する請願書

【お知らせ】

12月7日に、藤井裕一議員が文教厚生委員長に就任いたしました。

## 産業建設委員会

### ○閉会中に行われた委員会

（11月22日開催）

※総務委員会との連合審査

### 調査内容

- 農林水産業の振興に関する事項
- ・農協営農指導体制整備事業費補助金について
- ・農業体質強化基盤整備促進事業補助金について

（1月16日開催）

### 調査内容

- 環境衛生及び公害に関する事項
- ・メガソーラ事業について
- 道路整備について
- ・道路の境界確認について

# 一般質問

## 中根 光男 議員

**Q** エアコン未設置の小学校への今後の対策は

**A** 学校統廃合を進めており、冷風機等の配置で対応

**Q** 近年は夏の暑さが厳しく、小学校の授業では、児童の集中力低下が学力にも影響を及ぼしていると考えます。一日も早い対策をとの要望も多々寄せられていることから、エアコンの設置状況と今後の対応策について伺う。

**A 教育部長** 現在未整備の小学校は、新治小、七会小、上佐谷小の3校です。教育環境の公平性や児童の健康管理を第一に考えることは当然ですが、現在、小中学校適正規模化による統廃合を進めていることから、今後は、冷風機等の配置により対応したいと考えております。

**Q** ひとり暮らしや高齢者、障がい者、生活困窮者による孤立死などを防ぐためには、いち早く異変を察知し、速やかに手を差し伸べる体制が重要である。ガス会社や郵便事業者と協定を結び、異変の察知に連携して対応することも必要と思うが、今後の改善策と取り組みについて伺う。

**A 宮嶋市長** 高齢者の見守りとして、民生委員、各種団体、地域の方々に、現在のご協力をいただいております。多様な主体と連携していくことは必要であると考えており、今後も、高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らせるよう、見守りの仕組みづくりに努めてまいります。

**質問事項**  
**654321** 小学校にエアコン設置について  
 小・中学校にミストシャワー設置について  
 地域ネットワーク強化について  
 高齢者への見守り支援について  
 市内施設にLED導入について  
 通学路の安全点検実施について



▲新治小学校

## 佐藤 文雄 議員

**Q** 当市の霞ヶ浦放射能汚染対策について伺う

**A** 国県に要望を出し、市の方針を固めたい

**Q** 霞ヶ浦のうなぎやアメリカなまずなどが、食品安全基準を上回っているため出荷停止となっている。また、霞ヶ浦に流入する河川の底泥の放射能汚染は深刻で、市民団体の調査では高い値が出ている。霞ヶ浦の放射能汚染の実態を正確に把握することが必要と考えるが、本市としての対策について伺う。

**A 宮嶋市長** 環境省と茨城県が流入河川などのモニタリング調査を継続的に行っているが、対応方法を明確にできない状況であり、何らかの対策をとるまでには至っておりません。今後は、霞ヶ浦に流入河川を持つ市町村で構成された「霞ヶ浦問題協議会」を通じて、国や県に要望を出して、市として何をやっていけば良いのかを、なるべく早く早く詰めていきたい。

**Q** 市長の「58歳以上の管理職は置かない」との方針は、退職勧奨ではないか。

**A 宮嶋市長** 高年齢の課長級以上の管理職を外し、若手職員を登用することにより、組織の活性化を図るものです。高年齢層の職員の早期退職を促しながら職員の新規採用の枠を確保し、全体的に職員数と経費の削減を進め、組織のスリム化と活力ある組織づくりを進めます。本年度は、部長級の職員を対象として行い、平成25年度は、その対象を課長級の職員まで拡大したいと考えております。

**質問事項**  
**7654321** 放射能汚染から子どもと市民及び地域を守る総合対策について  
 入札制度の改善について  
 総合的な子育て支援策について  
 (保育所民営化問題と父母負担軽減)  
 小中学校の統廃合とじめ問題について  
 国民健康保険を命と健康を守る制度に  
 水道事業について(主に水道料金問題について)  
 市職員の退職勧奨について



▲霞ヶ浦

## 山内 庄兵衛 議員

**Q** 穴倉小と新治小は将来を考え継続を

**A** 適正規模にするため、統合すべきとの判断

**Q** 穴倉小学校区は、神立駅の整備がされると人口が増加すると考える。また、県内でも有数のグラウンドや学校林のある新治小は、千代田石岡インターの近くに立地しており人口が増える可能性がある。統廃合により廃校にしたら、再び学校を建てることは困難であり、将来のことを考えれば残すべきではないか。

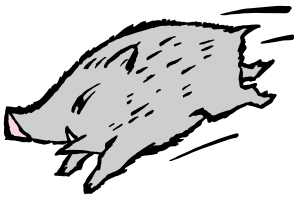
**A** 菅澤教育長 今後の児童・生徒数の推計も踏まえた中で、新しい統合校が各学年2学級以上の適正規模にするためには、学区審議会の方針に基づいて穴倉小、新治小とも統合すべきとの判断であります。統合後は、よりよい教育環境整備の充実に努めますので、ご理解をお願いします。

**Q** 最近イノシシが山本、上佐谷、雪入、そして五反田の一部、上志筑と相当出ている。ほとんど作物はつくれず、道路での交通事故も起きている。対策として、山のすそ野に柵を作ることについて伺う。

**A** 環境経済部長 柵の設置については、地域の実情、特性、要望等を踏まえ、県の補助事業を利用するなど今後検討してまいります。また、先進市の有害鳥獣防止対策、捕獲対策の動向にも注視し、従来行ってきた対策のほか、さらなる対策も講じていきたいと考えております。

**4321** 放射線対策について  
有害鳥獣駆除について  
交通網の整備について  
教育問題について

### 質問事項



## 田谷 文子 議員

**Q** 女性の社会参画推進に子育て支援の拡大強化を

**A** 女性が働き続けることのできる環境整備に努める

**Q** 育児による離職は、働く女性特有の問題です。女性の社会参画を進めるためには、子育て支援の拡大強化が何よりも重要です。また、少子化対策にも結びつくと思いますが、考えを伺います。

**A** 石川副市長 子育て支援は、助成金等により補助する形と、働きたい女性のために環境を整えていくことの二通りあります。育児については、例えばゼロ歳児保育で待機者が多いことからすると、働くための環境づくりができていないと感じております。女性が働き続けることができる社会づくりは国レベルの大きな課題であり、環境整備に努力していくべきと考えます。

**Q** シルバー人材センターは、市の補助金を前提とする運営の考え方から転換しない限り、世代感覚差を感じている若い納税者からの理解が得られないと思う。利益を求めない公益法人としての自立的運営はどうあるべきとの考えか。

**A** 宮嶋市長 市からの補助金については、行財政改革の一環として年次の減額をお願いしております。生きがい対策としてのシルバー人材センターの存在意義は十分認識しておりますが、一方で、組織としての自立の必要性との観点から、体制の効率化や新たな事業の発掘をお願いしているところです。

**21** 質問事項

シルバー人材センターの補助金について  
女性の社会参画について



▲市立さくら保育所

## 川村 成二 議員

**Q** 不祥事からの信頼回復には再発防止行動計画の策定が必要

**A** 先進事例等を参考にして整備してまいります

**Q** 公務員の不祥事については、行政みずからが不祥事の実態と再発防止策の「見える化」を率先して実行すべきである。市の信頼回復に向けた取り組みとして、調査・再発防止委員会を発足し、再発防止行動計画を策定して、それに基づき市民に公表すること提案するが、考えを伺う。

**A** 宮嶋市長 不祥事については、個人の責任としてではなく、組織全体の問題としてとらえ、総合的な対策を講じる必要があると考えます。ご提案いただいた市民に発信できるような行動計画については、先進事例等を参考にして整備していききたいと考えております。

**Q** 観光サイクリング事業として初めて取り組んだ自転車耐久レース、「かすみがうらエンデューロ」は、当市単独開催の大会として県外各地からも多くの方が参加した価値ある事業です。広くかすみがうら市をPRするだけでなく、当市の価値向上にもつながる大変有効な事業であり、今後の取り組みについて伺う。

**A** 環境経済部長 多くの参加者から、次回も参加したいとの声をたくさんいただきました。今後このイベントを継続開催し、全国の自転車愛好家やイベント来場者に本市の観光PRや地場産品販売等により、観光振興やイメージアップを図っていききたいと考えております。

### 質問事項

- 1 職員不祥事再発防止策と信頼回復に向けた行動計画について
- 2 観光サイクリング事業「かすみがうらエンデューロ」について
- 3 職員スキルアップ策としての「VE技法」の導入経過について



▲かすみがうらエンデューロ

## 平成24年度第1回議員研修会

平成24年11月13日（火）  
茨城県市議会議長会主催



会場：鹿島セントラルホテル  
参加：岡崎議員、山本議員  
講演：穂坂 邦夫氏（地方自立政策研究所理事長）  
「地方議会改革への挑戦～地方から国を変える～」

## 平成24年度第2回議員研修会

平成25年2月5日（火）  
茨城県市議会議長会主催



会場：三の丸ホテル  
参加：川村議員、佐藤議員、加固議員  
講演：田崎 史郎氏（自治通信社解説委員）  
「揺れ動く内外情勢とこれからの政局について」

## 緊急質問

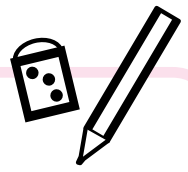
### 栗山 千勝 議員

**Q** あじさい館の電気料を誤送金したとのことだが、その原因は。 **A** 会計管理者 支出伝票に、送金先とは別の会社名と口座番号等が記入されておりました。伝票処理時の確認漏れが原因です。

**Q** 不祥事の問題が取りざたされる中、このような失態については最低と思うが、市長はどのように考えているのか。

**A** 宮嶋市長 ご指摘の通り最低であります。再度のことになります。再発防止に努めてまいります。

**意見** 不祥事が連続している。今後は議会で指摘されないよう、頑張ってもらいたい。



議会日誌 (11月6日～2月6日まで)

- 11月
  - 9日 湖北環境衛生組合議会臨時会
  - 12日 文教厚生委員会
  - 13日 茨城県市議会議長会第1回議員研修会
  - 14日 一般会計決算審査特別委員会
  - 特別会計・水道事業会計決算審査特別委員会
  - 15日 議会運営委員会
  - 22日 一般会計決算審査特別委員会
  - 産業建設委員会・総務委員会連合審査会
  - 29日 議会運営委員会、全員協議会
- 12月
  - 5日～19日 第4回定例会
  - 5日 議会運営委員会、全員協議会
  - 6日 議会運営委員会、全員協議会
  - 10日 文教厚生委員会
  - 13日 災害に強い水道の構築と経営改善のための調査特別委員会
  - 17日 神立駅周辺地区整備調査特別委員会
  - 19日 議会運営委員会、全員協議会
- 1月
  - 16日 産業建設委員会
  - 24日 茨城県市議会議長会定例会

議会を傍聴して  
市の動きを知りましょう!

本会議は、一般に公開されており、どなたでも自由に傍聴することができます。議会での議員の発言や、市長の考えなどを直接聞くことができます。第1回定例会は、3月4日(月)から開会予定となっております。お気軽にお越しください。



【お知らせ】

議会だより編集特別委の正副委員長が変わりました。(12月10日付)  
委員長：川村成二  
副委員長：山本文雄

【議員辞職のお知らせ】

古橋智樹議員の辞職が平成24年12月7日付で許可されました。

- 2月
  - 30日 議会だより編集特別委員会
  - 4日 茨城県南市議会議長会定例会
  - 5日 議会運営委員会、全員協議会
  - 6日 茨城県市議会議長会第2回議員研修会

編集後記

古橋議員辞職により、議員総数は15人となりました。全国で人口5万人未満の市町村議員は平均19人であることからみれば少数であることは否めない事実ですが、議員と職員が一定の緊張感と連帯意識をもって、民意を政策としてアウトプットできる自治体の運営に取り組むことが重要です。

議会だより編集委員長 川村 成二



決算認定とは？

議会が、一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績である決算について、その内容を審査した上で、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認することをいう。

長は、監査委員の審査意見を付けて、次年度の当初予算を審議する会議までに、決算を議会の認定に付さなければならぬものとされている。

決算審査の結果、法令等の違反など重大な問題が発見されたような場合には、議会としてこれを不認定とすることもありえる。仮に認定しなかった場合には、長の政治的、道義的責任が問われるかもしれないが、すでに行われた予算執行の効力には何ら影響しないものと解されている。

(地方議会運営辞典より抜粋)

ご意見をお寄せ下さい